

# まちの話題



12月1日(土)

## 高浜への想いをのせてタスキをつなぐ

2005年に開催された愛・地球博(愛知万博)を記念し、会場となった愛・地球博記念公園を舞台に県内54の市町村の精鋭選手が競う、第7回愛知県市町村対抗駅伝競走大会(通称・愛知駅伝)。選考会などを経て選ばれた代表選手が高浜市のタスキを背負い、大勢の観客の歓声が響く会場内を駆け抜けました。

初出場の選手から、「愛知駅伝はもう生活の一部みたいなもの」という熟練選手まで、さまざまな選手が集う高浜チーム。抜群のチームワークと絆でゴールまでタスキをつなぎました。



12月9日(日)

## 「あなたの一歩が地域を変える」まちづくりシンポジウム開催

第6次総合計画における目指すべきまちの姿のキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」。その実現に向け、原動力となるのは、やはり「人」です。「できるひとが できるときに できることを」の第1歩を踏み出すきっかけとしていただき、まちづくりの担い手の輪を広げていくため、中央公民館にてまちづくりシンポジウムが開催されました。

住民総出の地域おこしで有名な「やねだん」の豊重哲郎さん(鹿児島県鹿屋市柳谷公民館館長)による「感動」を軸とした地域再生の講話。そして、名張市・神戸市でまちづくりに奮闘する方々の裏話を含めたまちづくりトークなどに、多くの来場者が熱心に聞き入っていました。

